

畜産技術論と実習

9/7～9/11の5日間にわたって、京丹波町にある京都大学附属牧場にて畜産実習が行われました。畜資からの5人を含め、応用動物系の研究室から総勢16人が参加し、寝食を共にしました。

初日は昼前に牧場に到着し、空間の9割がベッドで占められた部屋に荷物を置いて昼食となりました。この時5日間の食事代として壹萬円徴収。さっそく僕の財布はハコリました。。そして生殖の今井先生の講義の後、実習として直腸検査、去勢、採精、飼養管理を行いました。僕にとって初めての直腸は、思ったよりもずっと温かったです。去勢の時は、男として身を縮込めずにはいられませんでした。逆に採精の時は、雄牛の豪快さに感激しました。

2日目はサイレージ給与、草刈りと体重・体型測定でした。草刈りでは、無駄にトゲの多い雑草(葉にもトゲがあった!!)に苦しめられながら、一生分ぐらい鎌を動かしていました。実習のあとはお待ちかねの親睦会バーベキュー☆
★詳細は別記しています。

3日目、僕は前日の宴の余韻により半分死にかけの状態朝を迎えました。完全に体調

不良の中行われた実習は、採血、直腸温・呼吸数測定、飼養管理でした。あんなに大量に献血してくれた牛たちには感謝です。

4日目は近くのフィールド見学、飼養管理と大石先生によるコンピューター実習でした。午前中のフィールド見学では、牧場周辺ののどかな(コンビニもない)地域をのんびり巡りました。若干昼食の時間は押ししてしまいましたが…。午後コンピューター実習では飼料設計を行いました。僕は以前に使ったことがあったのでバッチリでした♪



最終日はサイレージ給与をして、昼過ぎに牧場を後にしました。

5日間大変なこともありましたが、このような共同生活はどこか懐かしく、夜騒いで怒られるなんてことも、中高時代の合宿のようで楽しかったです。また実際にいろいろな作業を通して、座学だけでは分からないことが学べたように思います。

(いっしー)



目次:

広岡先生の随筆 ①マニュアル人間の ススメ	2
大石先生の結婚披露 パーティ	3
お誕生日会	3
第111回日本畜産学会 @オキナワ	4
～日畜裏話～	4
先輩現る!	4
お知らせ	5

朝晩はめっきり冷え込むようになった京都から、まだ夏真っ盛りの沖縄へ飛びました。きれいな海と、人懐こい人々、本州とはひと味もふた味も違った文化がそこにはありました。今回の旅で一番印象に残ったのは、離島から見上げた夜空を埋め尽くす満天の星空。写真に残せない美しさは、心にずっと焼き付けておきたいものです。訪れる人々を捕らえて離さない、納得のひと時でした。

牧場分野間交流懇親会

そろそろみんなの疲労がたまり始めた二日目の夜、牧場分野間交流懇親会という名の飲み会(バーベキュー)が盛大に行われました。は



じめの方はみんな控え目に飲んでいましたが、後の方はドンチャン騒ぎ。まず多くの生徒が服を脱ぎ

はじめ、牧場職員さんの絡み酒、バーベキューコンロは火事と散々なことになりました。さすが今年の四回生はチャミング。やらかしますね。M1の酒井さんにとってはキャベジンの脅威でも悲しい思い出になりましたが、来年もみんな



なで騒ぎましょうね。

(ジュニア)

好評連載 広岡先生の随筆

⑳ マニュアル人間のススメ



よく、学生には日頃から「マニュアル人間になりなさい」と言っている。誤解を受けるといけないので最初に述べておくが、ここで私が言っているマニュアル人間とは、ちゃんとマニュアルを読んで行動できる人間のことである。一般にマニュアル人間と言えば、マニュアル通りにしか行動できない人間を指すため、マイナスのイメージが強い。そのためかどうかは知らないが、最近マニュアルを読むことを嫌う学生が多い。しかし、最初にマニュアルをしっかりと読み、常識を身につけて物事に当たることは非常に重要なことである。

かく言う私は、自分がマニュアル人間だと自覚している。私の家の書棚には、日本語と英語の論文の書き方、手紙の書き方、マナーの本、あいさつ集、冠婚葬祭に関する本が、所狭しと並んでいる。それでも、しばしば非常識なことをして恥をかいてきた。だからこそ、マニュアルを読むことは重要と認識し、マニュアルを購入して事に当たることを心掛けている。

研究は、一般の人々から見れば、最も自由なものだと考えられがちである。しかし、実に多くのルールがあり、決め事がある。たとえば、論文を書き、投稿する場合、それぞれの雑誌にはそれぞれの投稿規定があり、文章のフォームから図表の書き方、参考文献の引用の仕方まで多くの決め事がある。もしそれを破って投稿すれば、それだけで論文が受理されなくなるケースもある。また、研究自体も、まったく新しい考え方が突如として出てくるものではなく、しっかりと基礎を固めた上でないと、まず生まれてこないものである。人によっては、このことを言うと、あらかじめ勉強すると新しい発想が出てこないと批判する人もいるが、未成熟な学問分野であるならばそのようなこともあるかもしれないが、少なくとも数十年の伝統があり、確立された研究分野では、それまでの研究成果を十分踏まえた上でないと、まず新しい研究は出てこないものである。初学者の学生が、まったく勉強もせず、思いつくままに実験を行い、論文を書いて投稿しても、よほどの事がない限り、却下されるのがおちである。当該の研究分野の関連テーマに関する先行論文を十分に読み、理解した上で研究を開始するのが、最も一般的で、効率的な研究の方法である。

初学者の中には、ちゃんと指導しないと、ほとんど論文を読まずに、実験や分析を開始するものがある。しかし、これは身近な例でいえば、公式を覚えずに入試を受けるようなものである。確かに、数学の天才ならばそれでもよいのかもしれないが、われわれのような凡人にとっては、公式を覚えずに試験を受けても、まず入試に受かることはできない。研究もまた同じである。

最初にマニュアルを読み、周辺の事項を理解した上で事に当たる人と、マニュアル通りにしか動けない人は似て非なるものである。両者の相違は決定的である。本稿がインターネット上にアップされる頃には終結しているであろうが、今回の日本で起こった新型インフルエンザ騒動は、おかしさを通り越して滑稽な事件であった。なぜ、弱毒性でこれまでのインフルエンザと大差がないことが分かった後でも、日本のみが過剰反応し、大パニックを起こしたのか。この件は、まさにマニュアル通りにしか動けない人間の典型的な例といえる。弱毒性であると分かっても軌道修正ができない点などはどうしようもないといわざるをえない。さらに、世界の対応・常識（マニュアル）を見れば、日本の対応の在り方・方向性も分かったはずである。それにもかかわらず、強毒成のインフルエンザを想定して作られたマニュアルを最後まで信用し、遵守するはめになり、世界中から笑われることとなった。日本政府およびその他の政策決定者は、今後の課題として、十分に検証する必要がある。

京阪神のすべての小中学校、高校、大学が休校を決めた中で、京都大学だけはすぐに物事の本質を見抜き、休校措置を取らなかった。このような京都大学の勇気と良識の府としての存在は、真に誇らしく、またカッコよく見えた。

大石先生の結婚披露パーティ

9月5日、大石先生ご夫妻の結婚パーティーが催されました。お昼の部と夜の部があったのですが、この記事は畜資メンバーが参加した夜の部について。



まず、パーティー前。会場はきれいなホテルだったんですが、私が受付を待っている間に来る人たちが新郎側の招待客ばかりだったので、待つ場所を間違えたかな？とちょっと不安になったところで受付スタート。安堵しつつ会場へ。

会場に入ると、新婦さんも畜資出身とあって、畜資の先輩方がたくさん来られていました。見たところ畜資率が高く、なんだか研究室の飲み会っぽい雰囲気が…(笑)。

パーティーは歓談を中心としたものだったので、主役が回ってくるまで内輪で談笑。のほろ、やってきた主役に気づかず談笑…。とかいうハプニングもありました。ほんとに普通の飲み会みたいになってました。すみません…。

学生からは、お祝いの気持ちを込めて記念品を用意したのですが、(先ほどの失態も気にせず)喜ん



でもらえてよかったです。記念品にはメッセージ付ボトルに入ったスパークリングワインとワイングラスを送りました。残念ながらグラスの写真はありません。

そして、司会をやっていた(!)編集長の力作、新郎新婦の紹介スライドの上映! 大石先生の紹介写真は面白写真?を中心に。新婦さんの方は、なんというか、写真集? CDジャケット? ZARD? な感じでした(笑)。芸能人みたいな写真の連続に会場がどよめいていました。

2次会は、屋上に会場を移して楽しく行なわれたそうです。



おまけ。

新婦さんはとても綺麗な方で、お化粧薄くても十分ステキなのですが、ドレスアップされてると、かーなーり! 美人!! っていうかモデルさんですか?! な感じだったので、相当テンションがあがりました。おかげで、一緒にいた人たちに「ゼ○シ○の表紙になれるよ!」「どこからみても美人だ~」と、語彙少なく口数多く語りかけ、声が枯れそうになりました。

お誕生日会

一ヶ月遅れの8月のお誕生日会と、この日の特別ゲストである9月生まれ長命さんの合同お誕生日会を、9月14日に行いました。8月のお誕生日さんのリクエストにお応えし、ロールケーキ、バイクドチーズケーキ、抹茶ムース。こここのところ、イベント系の「チャチャチャン」が虚しく響いた後、少しの間があいてみんなが歌い出すという回が多く、金島さんイントロの一月も早い復活が望めます! バックアップが、あるとかないとか…

イベント係り



日本畜産学会 第111回大会

9月28～29日に日本畜産学会第111回大会が沖縄県の琉球大学千原キャンパスで開催されました。畜産資源からは、熊谷先生らの「栄養水準の違いがムラ系雑種水牛の成長、みかけの消化率および窒素排出に及ぼす影響」、西尾君(D2)と広岡先生の「少数の遺伝子情報を用いた遺伝的能力評価簡便法の有用性の検討」、柳君(M1)らの「肥育期間中に摂取した飼料と牛筋肉組織、被毛の炭素および窒素安定同位体比における関係性」の研究発表がありました。

先輩現る！



去る9月16日、養賢堂に就職した小島先輩が、土壌肥料学会参加を兼ねて、畜産資源を訪問してくださいました。お茶会を兼ねて学生時代の話や現在の仕事の話など伺いました。学会懇親会の後は、畜産のメンバーと2次会・3次会・・・帰る頃には新聞配達とすれ違ったとか(^_^;)。またいつでも遊びに来て下さいね～。投稿もお待ちしております。

第111回日本畜産学会@オキナワ

そろそろ京都では寒暖の差がつかなくなってきていますが、沖縄は大違い。蒸し暑いです。

スーツを着ればたちまち汗が出て我慢大会仕様になるのは南国ならではのようです。

そんな中、ちくしからは熊谷先生、西尾さん、某M1が発表しました。他二人が平然と発表している中、某M1は今回が初陣。発表中足がプルプル震えていたという噂もありましたがなんとか発表を終えていました。



懇親会では、沖縄料理やご当地オリオンビール、そして豚の丸焼きが登場。あれこれ食べ過ぎて苦しんで

いた人もいたようです。

懇親会後は遺伝育種の皆さんと2次会へ。

京都以外で交流を深めるのもまた一興ですよ。

(うな)



～日畜裏話～



琉球大学で開催された日本畜産学会で、旧畜資メンバーのフランスに会いました

☆学会後に少し時間があつたので、休憩室で話しました。とても元気そうでしたよ！畜資のメンバー一人ひとりの名前を挙げて、みんなの近況を聞いていました。Goat Bulletinもよく見ているとのことでした。畜資の部屋飲み会にまた参加したいと懐かしがっていましたよ♪フランスは来年の学位取得を目指し、がんばっているそうです。元気な姿に、一安心(^_^)でした。

さて、学会のお楽しみはいろいろな人に会えることと、もうひとつ、ご当地観光！今回は、考

えるだけでわくわくする沖縄☆学会後、当日の飛行機がなくなって「きみらどうすんねや？」という問いかけに、残念ながら直帰できないので仕方なく(?)「離島へ～♪」と浮かれポンチ。牧志公設市場で食材を買込み、那覇から高速船で1時間の座間味島へ出かけてきました。島では、特産の豚肉と伊勢海老のBBQ♪ビーチで寝たり、シュノーケリングしたり…驚くほどきれいな海では、カクレミノやミノカサゴ、ハタテダイ



イ、イロブダイなどなど「ちゅら海水族館」そのままの美しい魚たちや珊瑚を觀賞することができました。学生時代のとっ

ておきの思い出となりましたね～。(ようこ)

呼子のイカ



シルバーウィーク(9月20日)に、畜資メンバー数人と『ヤリイカの活造り』を食べに行ってきました。連休中の待ち時間はなんと4時間！待ちくたびれてかなり疲れましたが、このイカを味わった瞬間に幸せが☆この日だけで、一店舗で300kgのヤリイカが完売したそうです。ぜひ皆様もお試しあれ～♪【お店情報】佐賀県唐津市呼子町呼子1744-17『河太郎』TEL0955(82)3208 (ようこ)

Department of Animal Husbandry
Resources, Kyoto University,
Faculty of Agriculture
Oiwakekyo, Kitashirakawa,
Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365
FAX 075(753)6365
http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

GOAT BULLETIN



畜産資源学研究室

GOAT BULLETINは、皆様の投稿記事で成り立っています。形式・文字数は問いません。また、読者の方々からのご意見やお問い合わせも大歓迎です。下記のアドレスまでどしどし送信してください。

E-mail: yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp

お知らせ

今月のゼミ

いよいよ後期のゼミが始まります。今月のゼミは、

10月 6日(火) 荒木・石田(4回生演習用)	14:45~16:15
10月13日(火) 酒井・イクバル(文献紹介)	14:45~16:15
10月20日(火) 木村(悠)・中川(靖)(4回生演習用)	14:45~16:15
10月27日(火) 加藤・稲垣(文献紹介)	14:45~16:15

の予定です。教室はE-103です。変更等は、随時お知らせします。

ゼミ係

研究室の動向

9月末から石田君(B4)の実験が始まりました。畜舎で羊を用いて代謝試験中です。10月1日から3ヶ月間、塚原さんが(独)家畜改良センター実施の「アフリカ人山羊研修」のコースアドバイザーとして全国行脚中です。10月8・9日には、第47回肉用牛研究会が福島県(独)家畜改良センターで開催されます。畜産資源からは、加藤君(M1)らが研究発表を行います。

今月のお誕生日会

10月のお誕生日さんは、広岡先生、酒井さん、荒木さん、です☆
まだリクエストを聞いてませんー；； イベント係り

今月のおみや



今月は、新潟のお米チップス、南紀の伊勢海老煎餅、神戸や沖縄のお菓子などなどいただきました~♪



2009年 10月の飼育当番表

日	月	火	水	木	金	土
9/27	28	29	30 イクバル・中川(靖) 体重測定④	10/1	2	3
4	5	6	7 竹内・木村・酒井 体重測定④	8	9	10
11	12	13	14 中川(智)・加藤 体重測定④	15	16	17
18	19	20	21 石田・荒木 体重測定④	22	23	24
25	26	27	28 稲垣・スリタヤニ 体重測定④	29	30	31

編集後記 忙しい季節がやってきました。研究や進路でいろいろ思い悩む時期でもありますね。先日の学会では、思いがけず十数年ぶりの同級生や先輩方に会いました。今日は突然何年も連絡のつかなかった友人から電話があったり…。旧友に会うのは嬉しいことです。いつでも胸を張って再会できるように自分を磨いていたいものですね。そんな心がけをしておくと、おのずと進むべき道が見えてくるのかもしれない。自分の希望とは違った道に出してしまうこともあるかも知れませんが、いつかどこかでつながると信じて、前を向いて進みましょう♪